



見たことのない視点からの
新しい感動を多くの人に届けたい

Vol. 12

駒ヶ根工業高校

航空技術研究同好会

(文・写真提供)

文化部

活動中!

夢中になれる瞬間があります

航空技術を生かして地域の魅力も発信中!

ドローンの幅広い
活用法と可能性

航空技術研究同好会は
3年生7人、2年生1人
と、4月に新しく入った1
年生2人の計10人です。

普段の活動は、航空技術
やドローンについて新し
い情報を収集したり、目標
を立てて工夫を凝らした
ドローンの操縦訓練を
行っています。外部の方か
ら空撮の依頼があった時
は撮影に行き、ビデオの作
成なども行っています。

駒工としてのドローン
の初飛行は2013年で
す。この10年で、ドローン

は小型化して4Kの高画
質での空撮が可能になり
ました。

また、先輩たちが北海道
で行われた遭難者を発見
するコンテストに参加し、
海で溺れている人に浮き
輪を投下する装置を開発
したり、高所のハチの巣に
薬剤を噴射する装置を開
発して、発明工夫展に入選
したこともあります。

便利さに伴う責任と
知識を全員で学ぶ

個人ではなかなか所有
しにくい高性能なドロー
ンを自在に飛ばせること、
ドローン検定にもチャレ
ンジできることなどが同
好会の魅力です。

でも、ドローンを飛ばす
時にはいろいろな制約や
責任があり、国土交通省と
東京航空局への許可申請
など重要な手続きをする
のも大変です。とても便利
で楽しいマシンですが、安
全に飛行させるためには
最大限の注意を払い、準備
をすることが必要です。

今後、会員全員がもつと
操縦技術を磨き、たくさん
の感動を増やしていきたい
と思っています。ドロー
ンに興味のある人はぜひ
一緒に学びましょう。

さまざまなドローンの活用法を考案中!

駒ヶ根工業高等学校 航空技術研究同好会
ドローンアタッチメントシステム



宝剣岳から御嶽山



同好会が過去に空撮した作品



ドローンの説明をする顧問の林先生

